

【評定】 A: 目標を上回る達成 B: 目標を達成または概ね達成 C: 目標を達成せず D: 目標を大きく達成せず

大項目	中項目	小項目		自己評価		学校関係者評価		今後の学校改善に向けて	
				小項目評定	中項目評定	現況	中項目評定		意見、提言等
B 学校教育目標	身体的側面	15	体力の向上、健康の保持増進に向けて適切な指導を行っている	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 逆上がり、縄跳び、マラソン練習などに子どもたちが進んで取り組んでいる姿が多く見られた。 低学年などで「完食メダル」等を取り入れた結果、給食の残さい量は昨年度よりやや改善したが、特に、汁物類と野菜の残さいが他の学校に比べ多かった。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 給食は完食するよう指導して欲しい。 汁物は家庭でも食べさせるよう指導したい。 食育の大切さを保護者に訴えていく努力をして欲しい。 外遊びは大人と一緒にいくことが大切。 	<ul style="list-style-type: none"> 清掃活動と一体となった体力づくりを進めていく。(坂本のそうじ道) 各学年で給食の残さいが少なくなるよう工夫する。
		16	保健・安全・食育の指導を適切かつ計画的に実践している	B					
	知的側面	17	確かな学力を支える学習ルールづくりやきめ細かな指導を行っている	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 全職員で「これだけは目標」の見直しを行い、学力向上や学習ルールの共通理解と共通実践を行った。 デジタルテレビや電子黒板を使い、わかりやすい授業を行った。 「書く活動」を全教科で取り組んだ。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 家庭学習の大切さを保護者にアピールすること。 「これだけは目標」の個人カルテはすばらしい。 子どもたちにとって、わかりやすく楽しい授業を望む。 	<ul style="list-style-type: none"> 「これだけは目標」の個人カルテを活用し、個々の確かな学力が定着するよう指導を重ねる。 「協同的な学び」を基本に据えた授業改善を進める。
		18	楽しく力を付けるなど、授業改善に取り組んでいる	B					
	情意的側面	19	粘り強く取り組む場面を意図的に設け、励まし称賛している	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 子どもアンケートで、「学校が楽しい」と回答した割合が昨年度より10ポイント増えた。(84%) 人権教育は計画的に実施されたが、子どもの自尊感情は十分高まっていない。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 無理に嫌いなものをがんばらなくても、好きなものを伸ばしていけばよい。 子どもアンケートで「学校が楽しい」「先生が認めてくれる」の項目が高いのは評価できる。 思いやりのある暖かい子どもが増えた。 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども一人一人が達成感を持てる取り組みを工夫する。 友達のよいところを見つけ合う活動を積極的に取り入れる。
		20	ともに育つ人権教育を、計画的に実施している	B					
	社会的側面	21	基本的な生活習慣の定着を図るとともに、ルール守って生活するよう指導している	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ルールを守って生活できるよう指導を重ねているが、実態としてはまだまだ課題が多い。 いじめの事案については、組織的に早期対応でき、一定の成果が出てきた。 	B	<ul style="list-style-type: none"> いじめは早期対応を望む。 ルールを守って生活できるよう、今一段の指導が望まれる。 徹底した指導を望む。 	<ul style="list-style-type: none"> 「ならぬものはならぬ」という指導を教職員一丸となって行う。 いじめ調査を学期に1回行い、早期対応していく。
		22	いじめなどのない、楽しい学校生活が送れるよう指導している	B					
C 学校経営全般	生徒指導	23	個に応じたきめ細かな生徒指導・教育相談体制を確立し、組織的に推進している	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 全体としては落ち着いているが、反社会的な行為を繰り返す児童もあり、指導を重ねている。 保護者、子どもに対するきめ細かな教育相談の場を持つことができた。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 反抗的な子もかわいいところがある。いい面を見つけて褒めてあげると、いい顔を見せてくれる。 反社会的な行為を繰り返す子どもは、保護者と連携して指導して欲しい。 教師間で対応が異ならないよう、共通理解と共同実践を。 	<ul style="list-style-type: none"> 自己肯定感を高めるための授業を積極的に取り入れる。 学年生徒指導の機能を充実させる。 教師と保護者との信頼関係を強め、共に子を育てていくという姿勢を大切にしてい
		24	子どもの自己指導力(*1)を育成し、高め合う集団づくりを行っている	B					
	保健・安全	25	危機管理マニュアルにそって、ケガや体調不良に適切に対応している	B	A	<ul style="list-style-type: none"> 今年度も地域関係者や保護者による日常的なパトロールと安全対策のおかげで、大きな事故は起こっていない。 保護者アンケートでも、安全関係の満足度は90%である。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ケガや体調不良は保護者と連絡を密に。 学校と地域の方々の努力で子どもたちの安全が守られていることを、もっと多くの保護者に知って欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 体育授業での事故を防ぐため、安全面での配慮と指導を徹底する。 保護者に対して、学校安全の実情を学校便り等で知らせていく。
		26	教員、地域関係者、保護者による登下校時安全パトロールを実施している	A					
	職員研修	27	研究テーマに基づき、「できる」「わかる」授業をめざして校内研究を進めている	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 各学年ではテーマに基づき研究を進めることができたが、学校全体としての研究成果はまだまだである。 子どもアンケートで「授業がわかりやすく楽しい」が昨年度より4ポイント高まった。(75%) 音楽・道徳・体育などのミニ研修会が充実できた。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 先生が常に輝き、元気ある活力が子どもに見えるよう、授業にあたって欲しい。 先生の実顔は忘れずに。 クラスによって授業のばらつきがないよう願います。 	<ul style="list-style-type: none"> 各学年で工夫して作られた教材を残していく。 個々の授業力が高まるよう、積極的に授業を公開し、研究を進める。
		28	教材教具の充実、研修資料の整理等、研修意欲を高める環境を整備している	B					

*1 自己指導力: その時、その場で、どのような行動が適切であるか、自分で判断し、決定し、そして実行し、責任がとれる能力(滋賀県「学校教育の指針」より)